

【コース】 良医への道4

【コースディレクター】

CD：森 茂久(医学教育センター)

【コースの概要】

良医への道コースは、第1学年から第4学年まで段階的につづく重要なコースである。医師になるためには、医学の基礎となる自然科学の知識および考え方を土台に、基礎医学から臨床医学へと一貫して連続して構築されている医学知識・概念のを修め、かつ最新の医療技術を兼ね備えることが要求されるが、優れた臨床医となるためには、さらに身につけておくべきことがある。

第1学年から第3学年での良医への道コースを通じて、豊かな人間性、幅広い社会的・国際的視野、探求心と科学的思考能力を備えた、生涯にわたり自ら学習を続けることができる医師となる素地を身につけ、臨床推論力・臨床技能を修得してきた。第4学年ではこれらのレベルをさらに上げて、臨床実習に入るために十分な力をつけなければならない。

第4学年での良医への道コースは、下記の3ユニットによって構成されている。

ユニット1：行動科学と医療倫理

ユニット2：地域医療とチーム医療

ユニット3：医学英語

【目 標】

将来、患者さんやその家族、医療スタッフに信頼される、優れた医師となるために、疾病の社会・経済的側面、心理的側面に関する基本的な知識を学ぶとともに、医療人としての適正な倫理観のもとに、病める人の気持ちを理解し共感できる態度を示す。また、これと平行して、医学に必要な英語能力を身につけるとともに、医師としての実践的な応用が可能になる臨床推論力・技能を修得して、医療チームの一員として活動できる準備を整える。

【学習方法】

詳細は各ユニットの項を参照すること。

【評価方法】

医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合、評価の対象とせず、不合格とする。